

公安委員会定例会議(第9回)の開催状況

第1 日 時 令和4年4月6日(水)

午後2時10分 ～ 午後3時30分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、渡部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 曾我部委員説示

本日は、私が約30年前に社長に就任した頃の経験談として、「頼まれ仕事は必ずやれ」ということについて話します。

社長になった当時、会社の売上がかなり落ち込んでいたため、仕事の依頼を受けるために某メーカーを訪問しました。同メーカーは、私が5年前に担当していた企業であったことから、私が過去に同メーカーから頼まれた仕事を断った件を取り上げられ、大変苦しい思いをしました。

その後、さまざまなチャンネルを通じて同メーカーと仕事ができるようになりましたが、知らない間に商売チャンスを逃していたのかと痛い思いをしました。それ以降、私の会社では、相談事があれば必ず受けて検討することを徹底しています。

やはり、仕事というのは頼まれた時に無下に断るのではなく、受ける方向で考えていくのが大切だと考えます。また、仕事を受けた以上は自分の仕事として、どんなことがあってもやり遂げるという心構えが必要です。

警察業務においても、さまざまな相談事があると思いますが、それに対する対応の仕方の一つとして参考にしていただきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和4年第8回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情申出の受理(2件)

総務室から、公安委員会宛て苦情申出の受理について伺いがあり了承した。

(3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

(4) 犯罪被害者等早期援助団体からの定期提出書類の提出

総務室から、犯罪被害者等早期援助団体からの定期提出書類の提出について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和3年度第3回警察署協議会の開催状況

総務室長から、全警察署において開催された第3回警察署協議会の結果について報告があった。

委員から、「コロナ禍で対面ではなく書面による開催となってしまうことは、警察運営にとって損失であると考え。できる限り顔を見ながらの対面開催となるよう努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「警察運営に役立つさまざまな情報を提供してもらうためにも、日頃から協議会委員との密接な関係を構築していただきたい」との発言があった。

(2) 新型コロナウイルスワクチン追加接種状況

警務部長から、県警職員の新型コロナウイルスワクチン追加接種状況について報告があった。

委員から、「政府による4回目接種の準備も進んでいるようであるが、警察官という立場を踏まえ、今後も積極的に接種を行っていただきたい」との発言があった。

(3) サイバー犯罪被害防止キャラクター「サイバー犬隊 ネットの安心まもるンジャー」の制作

生活安全部長から、サイバー犯罪の被害防止対策のために制作したキャラクター「サイバー犬隊 ネットの安心まもるンジャー」について報告があった。

委員から、「今回制作したキャラクターを活用することにより、県民に対して、サイバー犯罪について分かりやすく伝えていただきたい」との発言があった。

委員から、「ユニークな発想で馴染みやすい。さまざまな機会を捉え、工夫を凝らした広報活動を行っていただきたい」との発言があった。

委員から、「サイバー犯罪の手口は、典型的なものから独創的で新しい手法のものまであり、類型に際限がない。このため、最低限守るべき要素を整理して広報啓発活動していくことが大切である」との発言があった。

(4) 特殊詐欺未遂（架空料金請求）事件被疑者の逮捕～騙されたふり作戦の実施～

刑事部長から、3月31日、特殊詐欺未遂（架空料金請求）事件被疑者を逮捕した旨報告があった。

委員から、「県民を詐欺被害から守るためにも、引き続き事件の全容解明に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「特殊詐欺を防止するためには、人間の感性を磨くことも必要と考える。そのためにも特殊詐欺の犯行手口に関する広報啓発を継続的に進めていただきたい」との発言があった。

(5) 令和4年春の全国交通安全運動の実施

交通部長から、4月6日から15日まで10日間実施される、令和4年春の全国交通安全運動の概要等について報告があった。

委員から、「交通安全運動では、県民の力を結集させなければならぬ。県内のさまざまな団体に働きかけ、県民の力を集約して取組を行っていただきたい」との発言があった。

委員から、「まずは、交通安全運動期間中の交通死亡事故ゼロを達成するとともに、引き続き、交通事故発生件数の低減等に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「自転車を利用する県民に対し、交通ルールの遵守に向けた取締りを徹底して行っていただきたい」との発言があった。

(6) 監察案件に関する報告

首席監察官から、監察案件に関する報告があった。

4 その他

本部長から、「委員説示のとおり、警察は、さまざまな関係機関と連携しながら業務を進めていく組織であるため、横のつながりを特に意識した警察運営を行っていく必要があることを改めて認識した」、「先週、八幡浜市の諏訪崎半島を訪ねた。初めての訪問ではあったが、風光明媚で大自然と景色を楽しむことができる良い場所であった。また、自然休養林という人目につきにくい場所でありながら、1本の桜が立派に咲き誇っている風景を目にすることができ、日本人が好む美しさ（価値観）を実感する良い機会となった」、「4月6日から交通安全運動期間に入った。この時期は入学式等と重なることもあり、地域の安全を守っていこうとする世の中の意識が高まる時期であることから、県警では、できる限り多くの小学校の入学式に合わせて、警察官を学校周辺に配置しての見守り活動を行う予定としている」との発言があった。

以上